

各位

2023年12月15日
株式会社ROBOT PAYMENT

ROBOT PAYMENT、 「サブスクレポート2023.12～教育・スクール編～」を公開

教育・スクール業界におけるビジネス環境の変化を、決済データをもとに分析

株式会社ROBOT PAYMENT（本社：東京都渋谷区、代表取締役：清久 健也、以下「当社」）は、教育・スクール業界の市場規模や業界ごとの動向をとりまとめた「サブスクレポート2023.12～教育・スクール編～」（以下「本稿」）を公表いたします。

本稿は、サブスクリプション市場について考察を行ったアニュアルレポート（2023年8月公表）に続き、当社に蓄積された決済データ・顧客動向の分析を行い、顧客へのアンケートやインタビューも実施し、教育・スクール業界におけるビジネス環境の変化について考察しました。今後も、最新のサブスクリプション市場の概況や業界ごとの特徴・傾向に関するレポートを公表する予定です。



■背景

近年のデジタル化の進展とコロナ禍による消費者行動の変化は、オンラインプラットフォームの普及を促進し、時間や場所に縛られないサービスの増加に大きな影響を及ぼしました。これは、教育・スクール業界においても変化をもたらしています。学習環境のデジタル化が進み、柔軟かつ効率的に学ぶことが可能になりました。

また、昨今では子どものプログラミング教育や、社会環境の変化に対応するためのリスキリング（学び直し）の重要性が高まっています。2023年6月16日には、「骨太方針2023」においてリスキリング施策の強化が閣議決定されたり、東京都ではオンラインスキルアップ助成金の制度も開始されたりと、教育分野への関心が高まっています。

こうした背景により、教育・スクール業界はビジネスモデルの転換期であると考えられます。個々の学習ニーズに合わせてプログラムをカスタマイズできたり、提供形態や課金モデルを豊富に選べるようにするなど、柔軟性が求められています。

当社は、サブスクリプションモデルが一般的に認知される前から「定期継続課金」に強みを持つプロダクトを提供しており、累計14,000社以上にわたるサブスク事業者の決済の自動化や顧客管理を通じて、事業拡大に寄与してまいりました。

本稿は、当社顧客の中でも特に多くの方々にご利用いただいている教育・スクール業界に着目したものです。当社顧客へのアンケート調査や事業者インタビューを通じ、直近の業界動向や市況変化に関するサブスクリプション事業者からの見解を取りまとめて考察を行いました。

本稿を通じて、さまざまなサービス形態を持つサブスクリプション事業者へ最新情報を提供し、新たなビジネスの展開・発展に寄与していきたいと考えております。

■レポートの概要

サブスクレポート2023.12～教育・スクール編～

URL：http://go.robotpayment.co.jp/subscription_report_202312.pdf

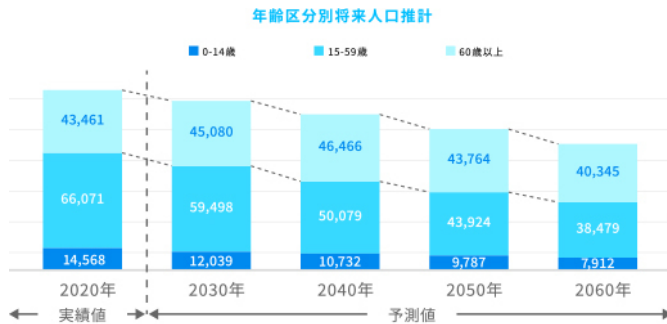
公表日：2023年12月15日（金）

<サマリ>

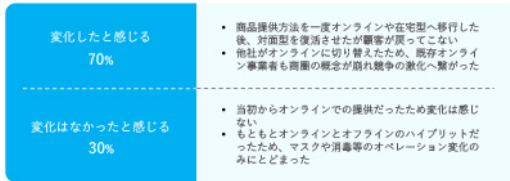
- ・市場動向の変化に伴う機会の拡大により、参入している教育・スクール事業者が19年比で2倍に増えた。
- ・事業者当たりの決済件数は19年比で2割減少したが、1決済当たりの売上高は19年比1.5倍に増えた。
- ・高単価・高付加価値なサービスが展開され、少ない生徒数でも収益を確保できるビジネスモデルが勃興するなど、ビジネスモデルの転換がみられた。

<目次>

1. はじめに
2. エグゼクティブサマリ
3. 市場動向
4. 政府の後押し
5. 教育・スクール業界の決済データ
6. アンケート集計結果
7. 事業者インタビュー
8. 教育・スクール業界向けサービス紹介
9. ROBOT PAYMENTのサービス一覧
10. 資料の利用案内



Q: 2020年2月以降に顕在化したコロナ禍によって、サービスの提供環境やターゲット層が変化したと感じますか? (自由記述回答一部抜粋・補足)



⇒ コロナ禍に伴うサービスのオンライン化により、顧客離れや競争激化が起こったが、もともとオンラインでのサービス提供を行っていた事業者には影響は限定的。

07. 事業者インタビュー

■ 独自の提供価値を貫く英会話学習から見た業界トレンド

コロナ禍でサービス提供を開始し、ハイクラス層をターゲットとすることで独自の提供価値を貫いている「ELT英会話」。英国在住のネイティブ指導員がオンライン上で指導を行うことで、高いクオリティでの学びを提供してきました。新規参入に成功したセキジン合同会社の代表 田中達也さんに、業界のトレンドやその先の未来についてお聞きしました。



セキジン合同会社 代表社員 田中達也 氏

1994年生まれ。早稲田大学製造理工学専攻機械工学科を卒業後、修士課程に進学し、数値法解析の研究に従事。米国ヒューストンのRice Universityで招聘研究員として、宇宙船に対する流体シミュレーションの研究に携わる。帰国後、大学院での研究を行う傍ら、ハーバード大学やインペリアル・カレッジ・ロンドンにてキャリアフェアを開催し、2019年にセキジン合同会社を設立。インテリジェントなスキルで高度化型ITサービスを立ち上げるが、コロナパンデミックの影響で軌道。2020年に英会話のELT社と共同で、プロフェッショナル向けのオンライン英会話サービス「ELTオンライン英会話」を立ち上げ、現在に至る。

— 事業の立ち上げ背景について教えてください。

もともと海外向けに美容教材の販売事業を展開していましたが、コロナ禍で越境取引が困難になったことをきっかけに業態転換を行いました。英国で展開していた海外駐在員向けの対面型英会話教室を、日本在住者向けにも展開できないかと考え、オンライン型英会話教室として2020年よりサービスを開始しています。

■ 時代や環境の変化に左右されない「教育の本質」とは

2015年の創業以降、時代のトレンドや外部環境の変化に合わせてサービスの提供形態を変化させてきた株式会社ダイビック。オフライン型での提供に始まり、直近ではコロナ禍の影響によりオンライン型での提供も行いつつも、提供価値の根底には常に「人とのかわり」を掲げています。時代や外部環境に左右されない教育の本質、サービスの在り方を赤裸々に語っていただきました。



株式会社ダイビック 代表取締役 野呂浩良 氏

プログラミングスクール「ディープロ (DPro)」創業者。新卒後、法人営業を経て、29歳でITエンジニアの開発未経験からワークスアプリケーションズの開発解決型プログラムを開発。その後、独立・起業過程で感じたITエンジニア人材の不足を解決するため、プログラミングスクールを2015年に創業。世界すべての国へIT教育と雇用の機会を広げることを目指す。2017年8月よりアフリカのルワンダ共和国でITエンジニア教育を開始。ITエンジニアとして活躍する卒業生を輩出。2020年、第16回「グローバル・アルムアイ・アワード」創造部門を受賞。

— 事業の立ち上げ背景について教えてください。

当社は、当初は「DIVE INTO CODE (ダイブイントゥコード)」という社名で、同名のプログラミングスクールを8年ほど運営していましたが、2023年4月の社名変更に伴ってスクール名も変更して現在の「ディープロ (DPro)」へと移行しました。私自身の過去の経験から、自分の強みとついで勝負できることの面白さと、難しいプログラミングスキルを身に付けることによる「自信が醸成される感覚」がプログラム構築のきっかけとなっています。社会人になってからでも過去の属性や職歴、年齢、理系文系などの専攻を問わず、IT業界にチャレンジできる道を日本社会に創ろうと決意して創業しました。

<利用案内>

本資料は、当社の許諾を得た上で、私的使用目的の複製または引用など、著作権法上認められている限度でご利用いただけます。

引用時には、「株式会社ROBOT PAYMENT」の社名と以下のURLを記載してください。

社名：株式会社ROBOT PAYMENT

URL：<https://www.robotpayment.co.jp/>

また、ご利用の際は事前に窓口へご連絡ください。

株式会社ROBOT PAYMENT 広報窓口：pr@robotpayment.co.jp

本資料に掲載されている著作物に関する著作権は、株式会社ROBOT PAYMENTに帰属しています。著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信等することはできません。

過去に公表した「サブスクレポートFY2023」もぜひご覧ください。

https://www.robotpayment.co.jp/service/subscription_report_2023.pdf

公表日：2023年8月23日（水）

■サブスクするならロボペイで

サブスク する なら ロボペイ で

ROBOT PAYMENTでは、サブスクリプション事業者のお金周りを解決する以下3つのサービスを展開しています。

- 自動継続課金システム「サブスクペイ」
- 請求・債権管理クラウド「請求管理ロボ」
- 企業間請求代行サービス「請求まるなげロボ」

サービス一覧

<https://www.robotpayment.co.jp/service/>

サブスクリプション事業者が抱えやすい悩みである「顧客ごとの契約・請求管理の煩雑化」「請求業務増加に伴う人件費の高騰」「決済手段の多様化によるミスの増加」等を包括的に解決するサービスを提供しております。

いずれも、創業以来一貫したサブスクリプション事業者向けサービスで、売上向上、バックオフィスの効率化、事業成長など、多くのお客様の事業に貢献してきております。

ROBOT PAYMENTでは、「決済『+α』で世の中の課題を解決する」というブランドアイデンティティを掲げており、「サブスクするならロボペイで」という言葉通り、サブスクリプション事業者に欠かせないサービスだと認識いただけるよう、引き続きサービスの充実、及び顧客の事業の成長に貢献してまいります。

■会社概要

社名 : 株式会社ROBOT PAYMENT (東証グロース : 4374)

所在地 : 東京都渋谷区神宮前6-19-20 第15荒井ビル4F

設立 : 2000年10月

代表 : 代表取締役 清久 健也

URL : <https://www.robotpayment.co.jp/>

請求管理ロボ : <https://www.robotpayment.co.jp/service/mikata/>

請求まるなげロボ : <https://www.robotpayment.co.jp/service/marunage/>

サブスクペイ : <https://www.robotpayment.co.jp/service/payment/>

1click後払い : https://www.robotpayment.co.jp/service/1click_atobarai/

▼メールマガジン・LINE公式アカウントで各種情報を配信しています

メールマガジン

- ・すべての適時開示・PR情報をリアルタイムにお知らせ
- ・登録はこちら : <https://www.magicalir.net/4374/mail/>

LINE公式アカウント

- ・主要ニュースリリース(解説コメント付き)、イベント案内・セミナー出演のお知らせ等
- ・IR担当者とチャットで質問・お問い合わせのやりとり
- ・登録はこちら : <https://lin.ee/keiczv9>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ROBOT PAYMENT
担当者名 : 執行役員 IR室 室長 新藤 雅之
電話番号 : 03-5469-5780
メール : ir@robotpayment.co.jp